



## カタツムリの、オスとメスはどこで見分けるの

### カタツムリは、1ぴきが、オスとメス

カタツムリは、1ぴきの体の中に、オスとメスの器官が、いっしょについています。これを、雌雄同体といいます。だから、オスのカタツムリとか、メスのカタツムリというのは、いないのです。

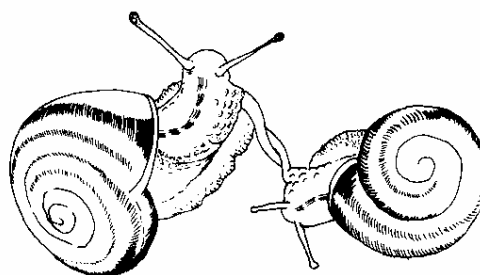
すると、カタツムリは1ぴきだけでも、卵を産んでふえるのでしょうか？じつは、そうではないのです。やはり、卵を産むためには、別のカタツムリと、交尾をしなければなりません。

カタツムリが成長して、卵を産むころになると、目がついた2本の大触角の間にある、こぶがふくらんできます。こぶから、交尾の相手をよびよせるにおいが、出るようです。

相手が近くにきたら、おたがいに触角でさわあい、においを確かめあって、頭どうしをくっつけ合うように並びます。そして、首のわきにあるオスの器官から、細い管を出しあって、おたがいにオスの遺伝子(親の性質や体質を伝えるもの)を運ぶ精子を、相手のメスの器官に送りこみます。

### 卵は、やわらかい土の中に

こうして、それぞれのカタツムリが、お母さんカタツムリになって、土の中に卵を産みます。産んだばかりの卵は、ねん液に包まれて、すき通った、3ミリメートルくらいのまん丸い卵です。(監修・中山 周平)



おたがいに精子を送る管をさしこむ、カタツムリの交尾

